

事業計画書(記載例)

1. 事業者名

株式会社●●

2. 補助事業メニュー

DX・デジタル化事業

3. 事業内容

現在の状況やその状況がどのような問題を引き起こしているのか等について記載してください。

〈現状の課題〉

現在、売上げや生産、在庫などを各担当でエクセル(手書き)によるデータで個別に管理している。そのため、集計に余分な時間を要している、売上げの傾向が生産数に反映されないことにより余分な在庫を抱えることとなる、売上げの分析が満足に行えず、効果的な改善が検討できない等の課題が発生している。

課題をどのように解決するのか、取組内容について具体的に記載してください。

例) ●●を▲▲し、■■する。

〈具体的な取組内容〉

売上げ、生産、在庫等の各データを一元管理することができる●●システムを導入し、集計や在庫管理、分析に活用する。

取組によって上記の課題に対してどのような効果が期待されるのか、課題との結びつきや取組前後の変化が分かるように記載してください。

〈取組によって見込まれる効果〉

●●システムの導入により、データの集計が簡易になり、従業員の作業時間が減少することで働く環境の整備につながる。また、売上げデータを生産管理に活用できるようになり、余分な在庫を抱えるリスクを減少させ、資金管理の改善につながる。さらに、これまでできていなかった売上げ分析により、月ごとの発注の傾向、顧客の属性(地域等)などが把握できるようになり、今後の売上向上に活かすことができるようになると考えている。

4. 事業費詳細

	金額(税込)	内容
	59,800	●●システム導入費用
	3,000	月額利用料 500円×6月
		製品名称や金額の積算について、内容が把握できるように記載してください。
合計	62,800	
補助金申請額	31,000	(対象経費の1/2、限度額10万円、千円未満切捨て)

事業計画書(記載例)

1. 事業者名

株式会社●●

2. 補助事業メニュー

新商品開発事業

3. 商品

イチジクゼリー

4. 商品の概要

〈※開発する新商品によって、どのように市をPRできるのか商品のアピールポイントを含めてお書きください。〉

城陽の完熟イチジクの果肉がゴロゴロ入っている贅沢なゼリー。甘味は控えめに調整し、イチジク特有の上品な香りと自然な甘さを引き立てる設計とする。また、城陽市の特産品であるイチジクの魅力を広く発信し、地域ブランドの認知度向上や市内農産物のPRにつなげる商品として展開する。

5. 販売方法

店頭販売、自社HPでのネット販売。将来的には、ふるさと納税返礼品としての展開も検討する。

6. 事業費詳細

	金額(税込)	内容
	80,000	材料費(イチジク:800円×50kg、ゼリー原料等:40,000円)
	14,750	容器・包装資材費(カップ容器:60円×50個、フタ・シール:20円×50個、商品ラベル:15円×50枚、外装箱:200円×50箱)
	5,000	加工委託費(ゼリー充填・殺菌等)(100円×50個)
	20,000	販売促進費(チラシ印刷:20円×1,000部)
	81,000	HP作成委託費
合計	200,750	
補助金申請額	100,000	(対象経費の1/2、限度額10万円、千円未満切捨て)